

【授業改善推進プラン、1年国語】

| | |
|----------------|--|
| 児童の状況 | <ul style="list-style-type: none">○学習に対して全般的に意欲的である。○平仮名、片仮名、既習漢字についての単純な読み書きはある程度習得できている児童が多いが、文章として読み取ることには課題がみられる。○書く活動について、文章作成能力よりも手指の運動に課題があり、正しい字形をとることが難しい児童もいる。○拗音、促音の読み書きは練習中である。○適切な助詞「は・を・へ」の活用にまだ課題が見られる。 |
| 指導についての課題 | <ul style="list-style-type: none">○教科書が新しくなり、デジタル教科書の仕様も昨年度までと若干異なるため、授業の中で効果的な活用ができるよう教材研究が必要である。○課題に応じ個の得手不得手のばらつきがあるため、個に応じた支援の工夫が必要である。 |
| 授業改善にむけての具体的方策 | <ul style="list-style-type: none">○読む、書く活動を行う際に実物投影機を効果的に活用し、全ての児童が活動内容を確実に把握できるようにする。○他教科で読む、書く活動をする際にも丁寧な指導をする。 |
| 読み解く力の育成 | <ul style="list-style-type: none">○言葉の意味を説明する時間を確保する。○毎日の音読課題の宿題への取り組みなどから、読むこと、読み解いていくことに慣れるようにする。○他児の作文や、感想や記録のカードなど、関心をもって読もうとする機会を多く設ける。○自由読書や、読み聞かせの機会を大切にする。 |

【授業改善推進プラン、1年算数】

| | |
|-----------------------|--|
| <p>児童の状況</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に学習に取り組む。 ○1から10までの数についての理解は良好である。 ○10までの数のたし算、ひき算の計算については習得もほぼ確実である。じゃっかん苦手とする児童もブロック等の操作を自力で行うことができる。 ○文章からの立式、解答には課題がみられる。 |
| <p>指導についての課題</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○計算の文章題だけではなく、様々な学習活動の際に、掲示物などの工夫をし、児童に視覚的にも理解を促せるような工夫が必要である。 ○ITC教材（デジタル教科書）を効果的に活用できるよう教材研究を行っていく。 |
| <p>授業改善にむけての具体的方策</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○さまざまな場面でなるべく必要最低限の分かりやすい言葉での説明を行う。 ○具体物、反具体物の操作を多く取り入れる。 ○文章題を扱う際に、具体物や半具体物の提示、操作を取り入れ理解を図る。 ○問題文の読解、文中の数の確認、立式の際の問題文と式の対応を順を追って丁寧に行う。 |
| <p>読み解く力の育成</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○教科書の文言、文章題、などを読む際の取り組みを丁寧に行う。 ○1年生の算数は具体的な動作や操作を通して学ぶ内容が多い。文章で説明されていることが具体的にどんなことを示すのかを、文と対応させながらきちんと形にして提示していくことが大切である。 |

【授業改善推進プラン、1年音楽】

| | |
|----------------|---|
| 児童の状況 | <ul style="list-style-type: none">○歌うこと、聴くことに積極的で、意欲的に取り組める児童が多い。○打楽器の演奏を楽しみながら取り組んでいる。○友だちの発表や演奏に関心をもって聴くことができる。○リズム打ちなど、体を動かしながら取り組む活動に楽しんで取り組むことができる。 |
| 指導についての課題 | <ul style="list-style-type: none">○今後、鍵盤ハーモニカなどの楽器や、リズム打ちなどが苦手な児童への指導を工夫していく。○音を出せない状況での鍵盤ハーモニカの指使い、音の位置の指導について更に丁寧に行う必要がある。 |
| 授業改善にむけての具体的方策 | <ul style="list-style-type: none">○音階唱を取り入れながら、音の高さの確認をする。関係もつかませる。○鍵盤に色シールを貼るなどの工夫を行う。○適切な個別指導を行う。 |
| 読み解く力の育成 | <ul style="list-style-type: none">○歌詞の意味を考え読み深める。○曲想を捉えるときのイメージや、作者の思いを考えて書くなどの活動を行う。 |

【授業改善推進プラン、1年図工】

| | |
|----------------|--|
| 児童の状況 | <ul style="list-style-type: none">○多くの児童が作業に集中して取り組むことができる。○友達作品の良いところを、鑑賞するのを楽しみにしていたり、自分の作品に積極的に取り入れようとしたりすることができる児童が多い。○材料をいくつ使ってよいかなど、はじめの説明をしっかりと聞けない児童がいる。○見本を見ながら作品づくりをしていますが、向きなどを間違えてしまう児童がいる。○手指の技能にバラツキがある。 |
| 指導についての課題 | <ul style="list-style-type: none">○個に応じた支援の仕方を更に工夫する必要がある。 |
| 授業改善にむけての具体的方策 | <ul style="list-style-type: none">○具体物の提示や実物投影機を活用し、作品を作る工程を視覚的に提示するなど、児童に分かりやすく課題を説明する。○教材提示や説明を分かりやすくする。 |
| 読み解く力の育成 | <ul style="list-style-type: none">○鑑賞の時間を設け、自分の作品の説明をすることをし、そして、友達作品の説明を理解できるようにする。 |

【授業改善推進プラン、1年生活】

| | |
|----------------|--|
| 児童の状況 | <ul style="list-style-type: none">○身の回りのことに関心をもち、活動に意欲的に取り組むことができている。○自ら課題を見つけたり、気付いたことを表現したりすることについて今後学習を深めていく予定である。○五感を使って観察を行い、言葉や絵で表現できている児童が多くいる。 |
| 指導についての課題 | <ul style="list-style-type: none">○植物栽培の場、飼育の場、季節を感じられる場などの場や、校外学習へ行くなどの時間を十分に確保することが必要である。○学習教材が身近に少ない。○児童の主体的な学習につながる授業構成を行う。 |
| 授業改善にむけての具体的方策 | <ul style="list-style-type: none">○学習の場や、教材、時間などを確保する。○児童の興味・関心を高めるための発問や学習教材、単元構成の工夫をしていく。 |
| 読み解く力の育成 | <ul style="list-style-type: none">○気付きや発見をまとめて発表する活動を通し、友だちの考えや思いを確認する機会や時間を確保する。 |

【授業改善推進プラン、1年体育】

| | |
|----------------|--|
| 児童の状況 | <ul style="list-style-type: none">○固定施設を使った運動遊び、走ること、ボールゲームなどは、意欲的に取り組むことができる児童が多い。○短い時間内で素早く整列ができる。○勝ち負けにこだわり、ルールを守って活動に取り組むことができない児童もいる。 |
| 指導についての課題 | <ul style="list-style-type: none">○活動の時間と場所を確保すること。○適切な距離を保ちながら、運動量を確保する。 |
| 授業改善にむけての具体的方策 | <ul style="list-style-type: none">○基本の運動やゲーム運動を通して、ルールを守りながら勝敗を認め、みんなと仲良く楽しく活動できるように指導する。○ゲーム領域の内容では、事前に映像等でイメージをもたせることで、説明の短時間化を図る。○教職員やボランティアの協力で、準備の短時間化を図る。○安全管理。 |
| 読み解く力の育成 | <ul style="list-style-type: none">○態度面での努力や動きの紹介など、友だちの考えや思いを確認する機会や時間を確保する。 |

【授業改善推進プラン、1年 特別の教科 道徳】

| | |
|-----------------------|--|
| <p>児童の状況</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○発言によって自分や登場人物の気持ちを伝えることができる。 ○善悪の判断、公正公平について考えるなど、道徳的な思考を深める活動について意欲的な取り組みができる。 ○道徳で取り上げたことを、自身の行動に反映させようと意識することができている。 |
| <p>指導についての課題</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○考えさせるべきことの発問の工夫をする。 (場面絵やデジタルコンテンツの活用法、主の発問をどうするか工夫) ○主体的に考えさせることをしていく。 ○他児の考えに対し耳を傾け、自身との違いに気付けるようにする。 |
| <p>授業改善にむけての具体的方策</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○考えたいと思えるような導入の工夫を行う。 ○登場人物の気持ちに寄り添えるための発問を工夫する。 ○課題を考えることを、自分と重ねて考えることができるようにするための工夫をする。 |
| <p>読み解く力の育成</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○場面から道徳的価値を捉える。 ○教材文の設定や、登場人物の心の動きを図で表す等の板書の工夫をし、そこから教材文の内容を振り返ったり、内容を読み解いたりする活動を取り入れる。 |